

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 龍也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 大井 康生
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 名

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,665	15.3	15	—	13	—	16	—
21年3月期第2四半期	1,444	—	△51	—	△50	—	△91	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,338.55	—
21年3月期第2四半期	△7,078.97	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,837	—	542	—	29.5	43,821.78
21年3月期	1,785	—	525	—	29.4	42,483.22

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 542百万円 21年3月期 525百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	2.6	50	—	37	—	28	—	2,262.80

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	13,083株	21年3月期	13,083株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	709株	21年3月期	709株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	12,374株	21年3月期第2四半期	12,977株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控ください。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表】 3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降の世界的な景況悪化により企業業績は低迷が続く中、設備投資の抑制、雇用・所得環境の悪化など、依然として厳しい状況が続いております。また、50年余り続いた自民党政権から民主党への政権交代により景気回復策を含めた改革が進められてはいるものの、個人消費の低迷などにより本格的な回復の先行きは不透明なものとなっております。

ゴルフ業界におきましても、消費者の先行きの不安感からゴルフ用品の買い控え、販売価格の早期下落などが顕著に現れ、引き続き経営環境は厳しい状況が続いております。しかしながら、石川 遼、池田勇太、諸見里しのぶ、有村智恵等、若手プロゴルファーの活躍が話題となり、女性層や若年層を中心にゴルフへの関心はますます高まっており、プレーする人口も前年以上に増える傾向にあります。経済産業省の「特定サービス産業動態調査」においてもゴルフ場／ゴルフ練習場の入場者数前年同月比が足元の平成21年8月には、それぞれ102.1%/109.0%となるなど、個人消費の減退が言われている中では比較的明るい傾向が見えてきております。

このような状況のもと、当社では第1四半期に引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、店舗運営オペレーションの見直しを行い、在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗につきましては、当第2四半期累計期間における新規出店は直営事業では「ルララこうほく店」1店のみ、F C事業ではエリアフランチャイズ加盟店における店舗統廃合によるリニューアルオープンが8月にありましたものの、平成21年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計76店舗と増減はありません。

また、「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」では、ショップ会員は7万人を突破し、売上も順調に伸ばしております。

また、直営事業においては、既存店が好調な売上を示し、第2四半期においては予算を達成しました。しかしながら、好調な既存店に対して一部新規店舗の業績低迷が影響し、売上高は見通しをクリアしたものの営業利益面では厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は16億65百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益が15百万円（前年同期 営業損失△51百万円）、当第2四半期累計期間純利益は16百万円（前年同期 純損失△91百万円）となりました。

これを事業部門別で見ますと、直営事業売上高は14億25百万円（前年同期比23.4%増）となりましたが、フランチャイズ事業の売上高は2億40百万円（前年同期比同17.0%減）となっております。

なお、店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	H21年 7月	H21年 8月	H21年 9月	第2四半期 合計	上半期 合計
チェーン全店	103.3%	107.9%	106.5%	105.8%	105.0%
チェーン既存店	102.4%	104.0%	105.6%	104.0%	100.4%
直営全店	110.5%	122.7%	114.6%	115.6%	119.6%
直営既存店	113.3%	115.7%	114.0%	114.3%	111.1%
F C全店	100.5%	102.4%	103.3%	102.1%	99.8%
F C既存店	99.2%	100.0%	102.8%	100.7%	97.2%

損益面では、売上総利益は粗利益率が38.8%（前年同期41.0%）と2.2ポイント低下したものの、前年同期5億93百万円から6億46百万円（前年同期比8.9%増）となりました。また、営業損益は販売費及び一般管理費を節約した結果、前年同期51百万円の営業損失から15百万円の営業利益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、18億37百万円（前会計年度末比51百万円増）となりました。その主な要因は、現預金、売掛金の増加、たな卸資産、敷金・保証金及び建設協力金の減少、によるものであります。有利子負債は、前会計年度末比49百万円増の9億2百万円となりました。

なお、純資産は5億42百万円となり、自己資本比率は29.5%と前会計年度末とほぼ同水準を維持しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4億43百万円となり、前会計年度末と比較し2億54百万円増加しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得た資金は2億34百万円（前年同期1億63百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、たな卸資産の減少額1億51百万円であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加額46百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は30百万円（前年同期2億22百万円の支出）となりました。主な要因は、直営店の出店による有形固定資産の取得のための支出34百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は49百万円（前年同期3億70百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金による収入1億円と借入金返済による支出50百万円によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期見通しにつきましては、政権交代など環境の変化は起きつつあるものの、国内経済の情勢は依然として厳しいものと予想され、景気先行きの不透明感は否めない状況です。このような状況のもと当社は、事業全体の収益性向上を目指し、店舗運営オペレーションの見直しを行い、在庫の適正化などによる粗利益率の改善及び経費の削減に努め、更なる継続的な黒字化の実現に集中してまいります。

以上のことから、平成21年5月15日に発表いたしましたように、通期においては、概ね予想どおりに推移しており、本資料の公表時点では業績予想の変更はございません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法で償却している資産に関しては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定おります。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	443,155	189,021
売掛金	110,553	63,752
商品及び製品	538,380	690,037
原材料及び貯蔵品	1,777	2,098
前払費用	31,194	35,441
未収消費税等	—	10,314
その他	2,707	3,720
貸倒引当金	△137	△137
流動資産合計	1,127,631	994,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	236,748	236,748
減価償却累計額	△54,548	△43,684
建物(純額)	182,200	193,063
構築物	18,027	18,027
減価償却累計額	△6,627	△5,879
構築物(純額)	11,400	12,148
車両運搬具	4,754	4,754
減価償却累計額	△3,867	△3,644
車両運搬具(純額)	887	1,109
工具、器具及び備品	242,588	239,120
減価償却累計額	△147,525	△126,360
工具、器具及び備品(純額)	95,062	112,759
建設仮勘定	—	3,985
有形固定資産合計	289,549	323,067
無形固定資産		
電話加入権	923	923
ソフトウェア	27,724	32,809
ソフトウェア仮勘定	588	—
無形固定資産合計	29,236	33,733
投資その他の資産		
投資有価証券	789	789
長期貸付金	1,567	1,567
長期前払費用	58,036	64,232
敷金及び保証金	156,809	170,020
建設協力金	175,319	199,448
その他	—	4,614
貸倒引当金	△1,567	△6,182
投資その他の資産合計	390,954	434,491
固定資産合計	709,741	791,291
資産合計	1,837,372	1,785,540

(単位：千円)

当第2四半期会計期間末
(平成21年9月30日)前事業年度末に係る
要約貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	149,975	87,001
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	133,836	100,512
未払金	30,080	74,720
未払費用	40,686	42,284
未払法人税等	6,581	9,732
未払消費税等	22,242	—
預り金	2,650	2,447
賞与引当金	12,920	21,858
ポイント引当金	27,870	21,977
店舗閉鎖損失引当金	—	52,903
その他	—	200
流動負債合計	626,844	613,637
固定負債		
長期借入金	569,084	552,664
退職給付引当金	49,393	43,751
長期預り保証金	49,800	49,800
固定負債合計	668,277	646,215
負債合計	1,295,122	1,259,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,765	500,765
資本剰余金	177,817	177,817
利益剰余金	△112,707	△129,270
自己株式	△23,625	△23,625
株主資本合計	542,250	525,687
純資産合計	542,250	525,687
負債純資産合計	1,837,372	1,785,540

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,444,691	1,665,729
売上原価	851,584	1,019,548
売上総利益	593,107	646,181
販売費及び一般管理費	644,313	630,712
営業利益又は営業損失(△)	△51,206	15,469
営業外収益		
受取利息	1,274	1,980
受取手数料	1,220	1,357
保険解約返戻金	—	1,324
雑収入	769	1,274
営業外収益合計	3,264	5,936
営業外費用		
支払利息	2,358	7,670
雑損失	458	533
営業外費用合計	2,817	8,204
経常利益又は経常損失(△)	△50,759	13,200
特別利益		
貸倒引当金戻入額	593	—
賞与引当金戻入額	—	6,677
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	3,789
特別利益合計	593	10,467
特別損失		
固定資産除却損	12	104
たな卸資産評価損	3,371	—
合意解約精算金	—	2,500
特別損失合計	3,383	2,604
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△53,549	21,063
法人税、住民税及び事業税	3,763	4,500
法人税等調整額	34,549	—
法人税等合計	38,313	4,500
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,862	16,563

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△53,549	21,063
減価償却費	32,124	40,885
長期前払費用償却額	294	1,024
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△593	△4,614
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,040	5,642
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,828	△8,938
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	5,623	5,893
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△52,903
受取利息及び受取配当金	△1,274	△1,980
支払利息	2,358	7,670
有形固定資産除却損	12	104
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△3,857	4,251
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,120	△46,801
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△114,145	151,977
その他の資産の増減額 (△は増加)	△6,572	42,072
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,384	62,973
未払金の増減額 (△は減少)	△3,883	△9,743
未払費用の増減額 (△は減少)	6,769	△1,597
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,751	31,114
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,500	2,091
預り保証金の増減額 (△は減少)	1,000	—
小計	△155,579	250,188
利息及び配当金の受取額	1,252	1,973
利息の支払額	△2,935	△7,699
法人税等の支払額	△6,709	△9,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	△163,971	234,729
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145,857	△34,890
無形固定資産の取得による支出	△5,651	△1,540
貸付金の回収による収入	593	94
敷金及び保証金の回収による収入	4,500	1,016
敷金及び保証金の差入による支出	△28,717	△6
建設協力金の回収による収入	2,784	4,985
建設協力金の支払による支出	△50,142	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,489	△30,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△9,996	△50,256
自己株式の取得による支出	△19,856	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,148	49,744
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,313	254,133
現金及び現金同等物の期首残高	99,598	189,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	83,285	443,155

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。